

## 第 67 回中国四国産科婦人科学会評議員会議事録

理 事 会： 2014 年 9 月 14 日（日）

於：ANA クラウンプラザホテル宇部 2 階 弥生

出 席 者： 会 長 杉野 法広（山口）

理 事 苛原 稔（徳島） 下屋浩一郎（岡山） 那波 明宏（愛媛）

原田 省（鳥取） 平松 祐司（岡山）

監 事 江尻 孝平（岡山）

幹 事 田村 博史（山口） 鎌田 泰彦（岡山）

評議員 岩部 富夫（鳥取） 関 典子（岡山） 増山 寿（岡山）

上田 克憲（広島） 三好 博史（広島） 勝部 泰裕（広島）

内藤 博之（広島） 村上 朋弘（広島） 水之江知哉（広島）

縄田 修吾（山口） 安井 敏之（徳島） 田中 宏和（香川）

前田 長正（高知）

（欠席者：工藤 美樹，秦 利之，深谷 孝夫，宮崎 康二，伊藤 隆志，  
中曾 庸博，小村 明弘，青木 昭和，澤田 康治，中塚 幹也，  
重政 和志，山本 暖，藤野 俊夫，沼 文隆，古本 博孝，  
三谷 弘，金西 賢治，樋口 和彦，池谷 東彦，越智 博，  
横山 幹文，濱脇 弘暉，乾 泰延）

### 会長挨拶：

杉野会長より，評議員会開催の挨拶があった。

### 報告事項：

- 1) 杉野会長より平成 25 年度会員数および会費納入状況，平成 25 年度会費納入状況，会誌発行状況について報告があった。各評議員にはご確認と，未納会員からの納入促進の依頼があった。
- 2) 杉野会長より，今年度の学会賞（八木賞）は応募論文が 1 件であり，高崎 彰久先生（山口大学，済生会下関総合病院）の「A pilot study to prevent a thin endometrium in patients undergoing clomiphene citrate treatment. (Journal of ovarian research に掲載)」に学術委員会での厳正な審査により，学会賞に決定したことが報告された。
- 3) 杉野会長より，平成 27 年度臨床公募研究への応募は，三宅 貴仁先生（川崎医科大学）の「婦人科腹腔鏡手術における局所浸潤麻酔の術後疼痛管理への効果の検討」の 1 件であり，学術

委員会にて協議の結果、承認されたことが報告された。これまではレトロスペクティブな研究が多かったが、今回は前向き RCT と新しい取り組みである。今後実際に非常に意義があるものと認められた。またこれまでにしっかりとしたエビデンスがないということで、公募研究として行われることに意義があると説明があった。

平松理事より、2014/9/6-9/7 に岡山で、学生・初期研修医を計 30 人集めて「ALSO」を開催した。うち 1 人は病欠。講師陣も中四国の先生および北は仙台から南は徳之島まで全国から熱い講師が集まった。夜の懇親会では 29 人中 27 人が産婦人科をやりますと発言があった。派遣いただいた施設の先生には引き続き follow していただき、産婦人科専攻に繋げて欲しいとの依頼があった。

あと日産婦学会の新しいプロモーションサイトの Love and Life Station を 8/1 に立ち上げ、会員にはメール配信した。また、9/3 にも全国の教授宛に学生にみせ、アンケートに協力するよう依頼した。評議員の先生方も閲覧の上、率直なご意見を申し上げますと依頼があった。

- 4) その他の報告事項は特になし。

#### 協議事項：

- 1) 平成 25 年度決算

杉野会長より、平成 25 年度会計の報告があった。昨年度にお認めいただいた通り、本学会の一般会計が 4000 万円超と大きくなりすぎているため、中国四国産科婦人科学会学術基金に 2000 万円を移した。そのため学術基金は現在 4000 万円となっている旨の説明があった。続いて江尻監事より監査報告があり、全会一致で承認された。

- 2) 平成 26 年度予算案

杉野会長より報告があった。また 2014/9/6, 7 に岡山でした Plus One 産婦人科セミナーに対して予算を 150 万円計上したことが説明された。

事務局鎌田幹事より、特に追加なし。

各評議員からの質問もなく、全会一致で承認された。

- 3) 次期および次々期開催の件

杉野会長より、来年度は下屋理事が倉敷市でご担当されるとの報告があった。

次々期（第 69 回）開催地（平成 28 年）は、通常の順番では愛媛地方部会（愛媛大学）が担当となるが、諸事情により今回は飛ばして、四国にてご担当いただきます。香川地方部会（香川大学）が担当となりますが、秦理事がご欠席のため、問題なければ平成 28 年は秦先生に。万が一開催できない場合は理事会で再度協議いたしますと説明があった。

下屋理事から次期開催は平成 27 年 9 月 5, 6 日に倉敷市で開催する予定との報告があった。他学会との兼ね合いで、最終的に日程が決定された経緯が説明された。プロジェクト Plus One を含めて実りの多い会にしたいとの抱負が述べられた。

4) 役員交代について

各役員の改選については別紙の如く改選された。期間は平成 26 年 9 月 15 日から平成 27 年 9 月 6 日までとする。主なところでは、高知の深谷先生から前田先生に、島根の宮崎先生から京先生に交代された。評議員も別紙の如く交代となった。

特に問題なく承認された。

5) 名誉会員推戴について

鳥取地方部会より寺川 直樹先生、島根地方部会より宮崎 康二先生、徳島地方部会より鎌田 正晴先生、高知地方部会より深谷 孝夫先生の計 4 名の推薦があり、協議の結果推戴された。

6) 2015 年のプロジェクト Plus One 産婦人科セミナーについて

杉野会長より、今年は岡山で第 1 回を開催したが、来年度もリクルートの一環として行いたい。今回は 1 日半かかったが、それには人員的な問題もあった。したがって来年度は本学会の中に取り込んで並行して行いたい。セミナーの内容は下屋理事に一任したい。また適切な指導者（とくに中四の指導者）にお手伝いいただく。

平松理事より、日産婦学会からも 100 万円の援助を申請している。アイデアがあれば下屋教授にお願いしたいとの発言があった。

下屋理事よりいくつかのアイデアは考えているが、先生方からもアイデアをお願いしますと依頼あり。

協議の結果、来年も行うということが、全会一致で承認された。

7) その他

学会誌編集に際し、平松理事より、「現代産婦人科」の編集において 2 重投稿が判明した案件があった。投稿者の倫理面もあるが、指導者のチェックも必要なので自施設からの投稿分には特に注意を払って欲しいとの依頼があった。

杉野会長より、投稿規定に論文不正等、日産婦誌に準じた罰則も付け加える予定で、文面については決まり次第お諮りしたいとの報告あり。

杉野会長より、閉会の辞。

以上